自衛隊栃木地方協力本部

足利春まつりで広報展
～ふれあいマルシェヤングヤング春祭りGWで親子のふれあい～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長　本村1空尉）は、4月29日（土）に渡良瀬川左岸・中橋緑地多目的広場（足利市）で行われた足利商工会議所主催の「足利春まつり」にて、広報展を実施した。

足利春まつりは、4月13日～5月19日の期間中に行われる様々な市民祭・スポーツ大会・商店街行事等をネットワーク化し開催されている。29日は、まちなかウォークを中心イベントとして「ふれあいマルシェヤングヤング春まつり」が行われ、子ども向けのお菓子釣り、かたぬき、はたらくくるま展示などが開催された。

自衛隊のブースでは偵察用バイク及び軽装甲機動車、96式装輪装甲車の展示とともに、募集相談、制服試着、足利市家族会が支援した売店を設けたこともあり沢山の親子連れの方が、自衛隊車両に興味を示してくれた。また、イベント参加の高校生と互いのブースを訪れて交流を深めることもできた。親子連れの中には「制服の色が違うのは意味があるんですか?」と、違いについて質問され、陸海空にわかれていること、様々な職種があることを伝えるなど、自衛隊について興味を持った様子であった。

足利地域事務所は「今後も、市民と関わる機会に自衛隊が身近な存在であることを広めていきながら、交流を深めていきたい」としている。

賑わいを見せる自衛隊ブース

展示車両で写真撮影を楽しむ来場者

同まつりでブースを出展している高校生たちも遊びに来てくれました。

自衛官募集相談員大田原支部総会を支援
～今まで以上の協力のお願い～

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長　高井1陸尉）は、5月15日（水）、大田原市西公民館で実施された自衛官募集相談員大田原支部総会を支援した。

同総会には、16名の相談員が参加し、その中で新井孝男支部長は、「今までは、コロナの影響や地域が広いことで、連携を取ることも難しかった。しかしながら、今後は、相談員同士一丸となって、事務所と密に連携を取り、積極的に自衛隊のPRをし、各広報官を支援していくとともに、イベント等に参加していこう」と熱く語ってくれた。また、大田原所長は相談員に対し、募集状況を周知させるとともに、少子化により、より一層厳しくなる中での、募集協力及び市街地広報や地域でのイベント等での協力支援を熱く要望した。

総会後は情報交換を兼ねて昼食会が行われ、各広報官と相談員が積極的な情報交換を行い、連携強化を図ることが出来た。

大田原地域事務所は、「今後も、相談員と連携し、「地域密着型」の募集広報強化を図っていく」としている。

総会の様子

相談員にこれまで以上の協力支援を
要望する新井孝男支部長

意見交換会を兼ねた昼食会の様子